

文化的景観だより

令和6年8月20日 発行

西予市教育委員会まなび推進課



7月30日(火)に、今年度第1回目となる文化的景観ワークショップを開催しました。

このワークショップは、平成31年に狩浜地区が重要文化的景観に選定されたことに伴い作成した整備計画に掲げている誘導サイン整備に向けて、住民のみなさんと協働していくことを目指すためのもので、令和5年度からの継続事業です。昨年度は見慣れた地元をあえて来訪者目線で歩き、散策コース案を作り、どこに、どんな誘導サインが必要かを考えました。今年度は、無茶々園さんの製品のラベルデザインを担当されたデザイナーさんのお力を借りながら、誘導サインのデザインを考えていきます。

当日は、平日夜にもかかわらず、25名の方に参加していただきました。みなさん、お忙しい中本当にありがとうございました。第1回目のデモは「狩浜の誘導サインを考えよう!」ということことで、狩浜に立つても違和感のない、且つわかりやすい誘導サインとはどんなものか、参加者全員でアイデアを出し合ってみよう…という内容で企画しました、昨年度同様、高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科准教授・北山めぐみ先生に全面的に協力をいただきました。また、デザイナー事務所・(株)ERIMAKI から、井上真季さん、ハタノ

エリさんを講師にお迎えし、デザイナー目線での誘導サインの考え方についてレクチャーしていただきました。お話によると、誘導サインを考える上で前提となるのは、周辺の「環境」とのこと。樹木が多い場所なら「緑」、海の近くなら「青」、ビル街ならコンクリートの「灰色」などというように、場所によってその土地の「色」があると思います。その場所に映える色、環境に馴染む素材や形を考える必要があるということで、いろいろ

な誘導サインの事例も紹介していただいたのですが、びっくりしたのは木に立てかけられた一輪車そのものに説明板が取り付けられたものがあつたことです。こういうのも誘導サインの素材になり得るんだなあと衝撃を受けました。

話し合いは3班に分かれ、はじめに【誘導サインを通して来訪者や住民に伝えたい「狩浜らしさ」とは?】について意見を出し合い、それを踏まえてサインの種類(①全体案内サイン、②個別説明サイン、③誘導サイン)ごとに色、素材、形、内容について思い思いの意見を出し合いました。当日出てきた意見をいくつか紹介します。



↑一輪車を活用した誘導サインのイメージ

サインを通して伝えたい

「狩浜らしさ」とは？

地域性

明るい／海が近くて元気な感じ／色々な人がいて面白い／みんなそれぞれの人生を楽しんで自由な雰囲気／未来に残す「秋祭り」の文化／どこにもない教育力／夢を持つ農業／4つの太陽がある(空の太陽、海からの照り返し、石灰岩の照り返し、明るい人間性)／海・山・人・ふるさとがぎゅっと詰まっている

人柄

丸みがあって温かい人柄／狭い土地だからこその深い付き合い／住民が大きくな家族みたい／会う人会う人に挨拶する／ちょっとした控えめな主張／こつこつと労働するまじめな性格／懐が深い／やるときは全力

風景

日々違う景色が見れる／圧巻の段々畑の眺望／整然とした段畑／うみ・さと・やまが調和した風景／きれいな夜空／菜の花／東向きの集落／キラキラした海／コエから見た九州／入江と風景

特産

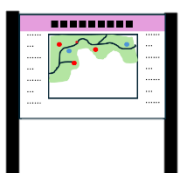
みかん／ちりめん／真珠／切干大根



「狩浜らしさ」を伝える

デザインとは？

全体案内



文字よりもイラストを多めに使い、誰が見てもわかりやすく(グラフィックレコーディング)／外国人向けにやさしい日本語を使いたい／四季折々のベストショット、写真映えスポット、休憩所、トイレ、店舗情報、全体マップ、散策の注意点を載せる／行きたい場所のQRコードを読み取ると注重点が出てくる仕組みにしては？(徒歩移動、トイレがない、など…)

【色】海に近い場所なので、青か白か船の色(カラー)なイメージ

【素材】鉄／古材／まな板／支柱の根本を段畑の石積風に／

説明サイン



イラスト、名称、解説／狩浜の歴史の変遷／単純明快に／説明板はシンプルにして詳細はQRコードにリンク／設置場所は最小限でいい／QRコードと英訳は必須(リンク先に昔の写真や豆知識)

【色】アースカラー／海の水、石灰岩の白、山並みの緑に映える色／黒字に白／補色よりもなじむ色がいい／派手な色はなんか違う(ジオ看板の水色もちよっと派手に感じる)

【素材】石灰岩や砂岩／竹や竹籠／天然っぽく見えるもの／舟板／サルカン

【形】みかんのような丸い形

誘導サイン

道に直接白で表示する／地面に矢印と行先／背景に応じた色

【素材】石灰岩／モノラックのカバー／濃い茶の木／牛鬼の尻剣／石臼／石／木／朽ちていく素材も味わいがある／

【形】地面誘導／牛鬼のシルエット／尻剣／みかん／通行の妨げにならないよう、なるべくコンパクトに



これまでに参加されたことがある方も、はじめて参加される方も大歓迎です。今回作成する誘導サインは、狩浜の文化的景観：ひいては、「狩浜らしさ」を地区内外に伝える大切なものです。今後、みなさんの暮らしの風景に良い意味で溶け込み、できるだけ長く使ってもらえるよう、狩浜にお住いの方みなさんの感性に基づくものを作りたいと考えています。ぜひ、一人でも多くの方にご参加いただけると嬉しいです。お待ちしております。

「西予ふしぎ探検」

8月後半は狩浜特集!!

西予市では、各課で取り組んでいる施策を楽しく、わかりやすく伝えるため、西予ケーブルテレビにて、行政情報番組を放映しています。まなび推進課では、令和5年度から「西予ふしぎ探検」という、どこかで見たことある(?)某クイズ番組風のコーナーを作っています。8月15日～8月31日の放映では狩浜地区を特集していますので、たくさんの方にご覧いただけますと嬉しいです。また、同期間限定でYoutubeでも配信されます。

もし面白

いな、と思

っていただ

けたら、視

聴リンクを

お知らせい

の方に共

有していた

だけると嬉しいですよ。

↓ここから視聴できます！

(8/15～8/31 限定)



第2回のお知らせ

…などなど、おもしろいアイデアがたくさん出てきました。みなさんからいただいたヒントを踏まえ、これから(株)ERIMAKIのお二人が、狩浜版誘導サインのデザインを作成してくださります。第2回ワークショップでは、できあがったデザイン案を見せてもらいながら、モニターツアーに向けた話し合いができるといいな…と考えながら絶賛企画中です。

今年度第2回目の文化的景観ワークショップの日時が決まりました。

【日時】9月24日(火)19時から

【場所】狩江地域づくり活動センター

(文責 西予市教育委員会まなび推進課)

※お問い合わせは0894-62-6415(まなび)

第1回の様子



↑おなじみ、北山先生



↑デザイン事務所㈱ERIMAKIのお二方



無茶々園さんからジュースをいただきました。



各班の話し合いの様子。どの班も活発な意見が交わされ、盛り上がっていました。狩浜のことを語られるみなさんの表情から、地元愛が伝わってきました。



各班の発表の様子。様々な意見が飛び出しましたが、みなさんとてもまとめ上手で、みんな頷きながら聞いていました。発表者のみなさん、ありがとうございました。